

«現代»

Q148 昭和31年（1956）11月29日、長府外浦町に下関水族館が開館しました。平成13年（2001）に移転新築して、あるかばーとに開館した市立しものせき水族館「海響館」の前身です。当時、東洋一の規模を誇り、昭和33年（1958）にはペンギン館ともう一つ施設が増設されました。その施設は以前本社を下関市においていた大洋漁業㈱が市に寄贈したもので、水族館が長府から去った今も、山の上に姿を見せています。さて、この施設はなんでしょうか。

- ①ふく館 ②熱帯魚館 ③海亀館 ④イルカ館 ⑤鯨館

答え ⑤鯨館

解説 昭和31年（1956）11月29日、長府外浦町に下関水族館が開館しました。当時東洋一の規模を誇り、下関市の観光都市への基盤づくりでもありました。敷地が33,000m²、総工費7600万円。1階が世界の淡水魚・磯の生物、2階が海水魚・淡水魚、3階が標本・模型類でした。やがて昭和33年（1958）にはペンギン館や鯨館が増設されました。中でも他に例を見ない鯨館は、以前下関に本社を置いていた大洋漁業㈱が、市制施行70周年と関門国道トンネルの開通を記念して市に寄贈したものです。この鯨館の高さは15m、長さ25m、胴回り10mで、内部には鯨や捕鯨に関する資料が展示され、鯨の口の部分はガラス張りで展望台となり、さらに、スイッチを押すとゴーッと音を立てて空高く潮を吹き上げる装置も備えられ、総工費は1500万円でした。

Q149 昭和52年（1977）10月、下関駅の側に大型店舗が完成。百貨店の下関大丸、量販店のダイエー、そして専門店街の三者が一体となったもので、売り場面積は当時西日本一といわれました。この大型店舗の名称はなんでしょうか。

- ①下関駅商店街 ②下関専門大店 ③チャチャタウン
④グリーンモール ⑤シーモール下関

答え ⑤シーモール下関

解説

昭和52年（1977）10月21日、下関駅前に総合ショッピングセンター「シーモール下関」が完成しました。鉄筋コンクリート造り、地下1階、地上7階（一部4階と5階）、敷地面積28,920.60m²、建築面積22,353.12m²、延べ床面積119,959.45m²の西日本一の売り場面積を持った大型ショッピングセンターの完成でした。その建物は、百貨店の下関大丸、量販店のダイエー、そして専門店街と三者が一体となったものです。

Q150 昭和58年（1983）11月、下関市立美術館が完成しました。これは下関出身の美術コレクター河村幸次郎のコレクション寄贈の申し出を契機に建設が具体化したものです。また、横川コレクションの寄贈もあり、充実した所蔵品で開館を迎えました。さて、長府藩のお抱え絵師でもあり、市立美術館の所蔵品の核をなしている近代日本画の夜明けをもたらした日本画家の名前はなんといいますか。

- ①狩野永徳 ②狩野雅信 ③狩野芳崖 ④高島北海
⑤橋本雅邦

答え ③狩野芳崖

解説

下関市立美術館は、昭和58年（1983）11月19日に開館しました。美術館建設のきっかけとなったのが、昭和50年代初頭における下関出身の美術コレクター河村幸次郎のコレクション寄贈の申し入れでした。この河村コレクション、そして横川コレクションをはじめとする多くの寄贈もあり、1千点を超える充実した所蔵品を持って出発したのです。その後も、下関に生まれ日本美術史上に輝かしい光彩を放つ狩野芳崖や香月泰男のかづきやすおの作品を中心に収集を進めています。

◎Q151 昭和59年（1984）に四国連合艦隊来襲の際に戦利品として持ち去られた長州の青銅砲が、120年ぶりに下関に帰ってきました。この青銅砲は、どこにあったものでしょうか。

- ①バーゼル ②ニューヨーク ③ロンドン ④パリ
⑤マドリッド

答え ④パリ

解説 みもすそ川公園には長州砲のレプリカ6門が置かれています。青銅砲は、元治元年（1864）の四国連合艦隊来襲の際、戦利品として持ち去られ、パリのアンバリッド（軍事博物館）に保管されていたものが、昭和59年（1984）6月20日、120年ぶりに下関へ里帰りしたことを記念して、翌昭和60年（1985）に下関東ロータリークラブが原寸どおりのレプリカを製作し、ここに設置したもの。長州砲のレプリカ5基は、長府藩の安尾家に伝わる20分の1模型を参考に下関市が平成16年（2004）10月、設置したものです。

◎Q152 平成13年（2001）、新しい水族館「海響館」が、あるかぼーとにオープンしました。関門海峡の潮流を再現した大水槽や世界中のフクの展示、世界でも数体しかないシロナガスクジラの骨格標本など見所いっぱいです。また、イルカ・アシカのショーも人気を博しています。さて、シロナガスクジラの標本は、トロムソ大学の博物館から借り受けいますが、この大学はどこの国にあるでしょうか。

- ①ノルウェー ②スウェーデン ③デンマーク ④フィンランド
⑤ドイツ

答え ①ノルウェー

解説 平成13年（2001）、あるかぼーとにオープンしたしものせき水族館「海響館」。関門海峡の潮流を再現した大水槽や世界中のフクの仲間たちの展示、さらにはアクアシアターでイルカ・アシカのショーは子供

たちに大人気です。また、1階に展示してある長さ25mのシロナガスクジラの骨格標本は、ノルウェーのトロムソ大学博物館が1886年に入手したもの。地球上でもっとも大きい生物・シロナガスクジラの骨格標本は世界でも数体しかなく、日本では唯一の展示です。

◎Q153 平成13年（2001）に新しくなってオープンした関門海峡沿いのある市場はなんという市場でしょうか。カモンワーフの横にあり、現在観光客に人気の市場です。

- ①中央卸売市場
- ②唐戸市場
- ③南風泊市場
- ④長門市場
- ⑤下関中央市場

答え ②唐戸市場

解説 唐戸市場は、昭和8年（1933）に下関市唐戸魚菜市場として開設され、周辺市町村と九州北部を供給圏として生鮮食料品を取り扱うとともに、市民の台所と直結した市場として親しまれてきました。施設の老朽化と手狭さのため、平成13年（2001）に新しくなってオープン。現在では、従来の市場機能のほか、貸し出せる会議室や料理教室を備え、セリを見学できる見学デッキなどを供えた多機能な市場で、人気の観光スポットとなって観光客でにぎわっています。また、観光客のために、市場内で新鮮な食が味わえる「活きいき馬関街」（海峡の屋台村）を金・土・日・祝日に実施しています。

◎Q154 水族館「海響館」のオープンに続いて、翌年、お土産品のショップや飲食店の集まった施設が、唐戸市場横に完成しました。この施設はなんという名称でしょうか。

- ①唐戸センター
- ②唐戸会館
- ③カモンワーフ
- ④カモンモール
- ⑤カモンセンター

答え ③カモンワーフ

解説

唐戸地区にしものせき水族館「海響館」、唐戸市場が平成13年（2001）にオープンし、平成14年（2002）にはカモンワーフがオープンしました。カモンワーフは、お土産品や飲食店の集まった施設。この完成により、海響館から下関グランドホテル、関門連絡船乗場、カモンワーフ、唐戸市場へと観光施設が並び、海側にウッドデッキが続いて、唐戸水際線の整備となり、観光客でにぎわうこととなりました。

⑩Q155 東アジアの総合的な交流の場として、堺田沖に造成している沖合人工島の名前はなんと言いますか。

- ①下関出島
- ②下関アイランド
- ③長州出島
- ④長州アイランド
- ⑤下関ポートランド

答え

③長州出島

解説

沖合人工島「長州出島」は、東アジアの総合的な交流の場として、堀田西町地先海域に61.6haの用地を造成して建設しています。荷役作業を行うための大規模な埠頭要地をはじめ、貨物をストックする保管施設用地、そのほか業務施設用地や下水処理場用地、緑地、道路用地、橋梁などで構成されています。長州出島の名は、下関港沖合人工島整備事業に対する理解と関心を高めるため、平成15年（2003）に一般公募により町名が「長州出島」に決まりました。平成21年（2009）より一部供用されています。

⑩Q156 沖合人工島「長州出島」と本土とを結ぶ橋の名前は何と言うでしょうか。

- ①堀田大橋
- ②北浦大橋
- ③下関大橋
- ④人工島大橋
- ⑤長州出島大橋

答え

⑤長州出島大橋

解説

長州出島大橋は、沖合人工島「長州出島」と本土とを結ぶ全長430mの橋です。下関海響マラソンのコースにもなっています。